

人権センター 図書だより



Vol.37 令和6年8月31日発行

発行：四日市市人権センター

TEL.354-8609 FAX.354-8611

jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

まだまだ暑さ厳しい毎日ですが、頑固な夏にもう少し付き合うつもりで、引き続き暑さ対策にも気を配っていききたいと思います。

今回は5月～6月の新刊のご案内です。人権センターでは人権に関する図書を取り揃えており、1回に5冊まで、2週間借りることができます。直接人権センターへお越しいただくか、お電話でお問い合わせください。

📚 新着図書より 一部紹介 📚

遺影の母は満面の笑みです

『ぼけますから、よろしくお願ひします』 おかえりお母さん

(H-65 信友直子 著 新潮社)

老々介護のリアルを娘の視点で綴った話題作、「ぼけますから、よろしくお願ひします」の後編！

母が認知症診断を受けて4年半、介護サービス利用が始まってほっとしたのも束の間、東京で働く著者に広島で暮らす父から電話が。「おっ母がおかしい」。

緊急搬送され、そのまま脳梗塞で入院した妻に98歳になった父は変わらぬ愛情を注ぎ、毎日1時間かけて入院先へ面会に通う日々を送る。

遠距離介護を続ける娘が時に戸惑い、時に胸を打たれながら見届けた夫婦の絆の物語です。

戦場に向かう7人の子供たち

『おかあさんの木』

(B-88 大川悦生 作 箕田源次郎 絵)



人権大学あすてっぷ 2024 公開講座で上映した映画「おかあさんの木」の原作本。今から数十年前、あるところに、おかあさんと7人の息子が住んでいた。やがて日中戦争を皮切りに日本が戦争に入ると7人の息子たちは次々に召集され、戦地へ赴いていった。息子たちが兵隊にとられるたびに、裏の空き地にキリの木の苗を植えるおかあさん。おかあさんは息子たちの無事を祈り、彼らの帰還を待ち続ける。他にも東京大空襲、広島原爆、玉砕の島など、反戦平和に関する話を7編収録。

「居場所ではなく稼げる場所を」

『温めれば、何度だってやり直せる』

(F-249 夏目浩次 著 講談社)

著者は、久遠チョコレート代表。大学・大学院でバリアフリー都市計画を学び、2003年、豊橋市において、障がい者雇用と低資金からの脱却を目指すパン工房「花園パン工房ラ・バルカ」を開業。1000万円の借金を抱えながらも、2014年、久遠チョコレートを立ち上げ、わずか10年で60拠点に拡大。「凸凹ある誰もが活躍し、稼げる社会」を目標に、多くの人々の就労促進を図りながら、美味しいチョコレート作りで奮闘する。この本で語られるのは、代表の無謀ともいえる挑戦と、ぶつかり続けた壁と、次々と現れる課題を乗り越えるために絞り出された知恵と汗の物語。学歴も技術もキャリアも自信もお金もなかった夏目さんが、世の中で「使えない」とされている人達に「稼げる場所」を作ろう、と奮闘してきた道のりだ。そこには、逆境の中においても「無理だ」ではなく「どうしたらできるか」の逆算思考で組織を成長させ、ビジネスに変える数々のアイデアがある。

「人生は何が起こるかわからない」

『見えない壁だって、越えられる。』

(F-247 小林幸一郎 著 飛鳥新社)

視覚障害のフリークライミング世界チャンピオンによるエッセイ！小学生のころから運動が嫌いで勉強も苦手「僕にも何か夢中になれるものがほしい」とおもっていた。そんな折、書店で何気なく手にした山岳雑誌で、フリークライミングの存在を知り強い憧れを抱く。28歳のとき、「網膜色素変性症」と診断され、近い将来失明すると宣言を受ける。その後間もなく失明するが、クライミングのすばらしさや魅力を多くの視覚障害者に伝えたいし、障害があることは、あきらめる理由にはならないと、自分の限界に挑み世界選手権4連覇を成し遂げる。山あり谷ありの人生も、誰かと繋がりがながら感情や行動を共有することで越えていける。そんなことを改めて感じるができる一冊です。



新着図書 5~6月

令和6年度 図書一覧(入庫順)

入庫月	書名	著者名等	出版社等		
5月	こころの科学 233号 セクシュアリティ 対人援助の新たな視点	(編)山登敬之	日本評論社	J-4	16
5月	子どもたちはインターネットやゲームの世界で何をしているんだろう？ 児童精神科医からみた子どもたちの「居場所」	関正樹	金子書房	I-1	87
6月	むこう岸	安田夏菜	講談社	A	148
6月	おかあさんの木	(作)大川悦生 (絵)箕田源二郎	ポプラ社	B	88
6月	見えない壁だって、越えられる。	小林幸一郎	飛鳥新社	F	247
6月	アディクト〈依存者〉を超えて ダルクの体験を経た9人の〈越境者〉の物語	(編著)市川岳仁	明石書店	F	248
6月	温めれば、何度だってやり直せる チョコレートが変える「働く」と「稼ぐ」の未来	夏目浩次	講談社	F	249
6月	モラハラ夫と食洗機 弁護士が教える15の離婚事例と戦い方	堀井亜生	小学館	G	132
6月	女ことばってなんなのかしら？ 「性別の美学」の日本語	平野卿子	河出書房新社	G	133
6月	ぼけますから、よろしくお願ひします。おかえりお母さん	信友直子	新潮社	H	65
6月	ルビーの一步 私たちすべての問題	(著)ルビー・ブリッジズ (訳)千葉茂樹	あすなろ書房	I-1	88
6月	ママたちが言った	(文)アリシア・D・ウィリアムズ (絵)ブリアナ・ムコディリ・ウチエ ンドゥ (訳)落合恵子	クレヨンハウス	I-4	165
6月	望まない孤独	大空幸星	扶桑社	J-1	147
6月	隣る人 心が弱ったときに開いてほしい本	仲律子	幻冬舎	J-4	17
6月	プリテンド・ファーザー = Pretend Father	白岩玄	集英社	J-5	303
6月	水を縫う	寺地はるな	集英社	J-5	304
6月	悪口ってなんだろう	和泉悠	筑摩書房	J-5	305